

被災地の皆様のご健康と
一日も早い復旧・復興を
お祈り申し上げます。

日本工業大学後援会 会報

第

88号

発行／日本工業大学後援会

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
☎(0480)344-111(代)
平成二十三年十一月三十日
<http://nikokenkai.jp/>

R100

「震災から復興へ」

会長 出井 栄一 (M4埼玉)



寒さが一段と厳しくなる今日この頃、会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、皆様には常日頃から後援会活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2011年を振り返って見ますと、千年に一度と言われる震災が3月11日に東日本を中心に発生しました。地震・津波そして福島第一原子力発電所の事故により被災されました皆様方に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興されることを切望いたします。

さて、本会の主要事業のひとつであります『地域別教育懇談会』を9月から10月にかけて、支部主催18会場、本部主催4会場で開催しました。昨年度より若干少ないですが、約600名のご参加を頂き、盛会の裡に終了できました。参加されたご父母の反応は、「参加して良かった」とのご意見

が大半であり、今回初めて参加された方には、「次回も参加したい」と言って頂きました。

この懇談会は、家庭と大学を結ぶ会であり、ご父母が普段疑問に思っていることを直接先生方にお聞きできる良い機会です。参加されなかったご父母の方々は、次年度は是非とも参加してみてもいかがでしょうか。きつと何かを得られることと思います。この場をお借りして、ご多忙の節に各会場へ出張して頂きました柳澤学長先生をはじめとする教職員の皆様方、並びに会場の準備等運営にご尽力を頂きました支部役員、理事の皆様方に感謝と御礼を申し上げます。

本会の特別事業であります『第2食堂(ビザリア・トレビ)のデッキテラスにテント屋根設置及び厨房を含めた室内の改修工事』が10月下旬に完了いたしました。今後は、学生諸君の利用拡大を期待いたします。

後援会は、これからも学生、家庭と大学の架け橋として、会員の皆様のご要望に心を込めて対応すべく、役員一同、力を合わせて活動して参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

平成23年度 地域別教育懇談会

全国22会場で盛会裡に終了

平成23年度の地域別教育懇談会は、支部主催18会場(東中国支部と西中国支部は合同開催)、本部



群馬県支部会場個別面談



千葉県支部会場個別面談

主催4会場の計22会場で開催され、582組の会員にご参加いただきました。会長のご挨拶にもあるように、参加した会員からは、大変有意義な会であった、参加してよかった、と好評をいただきました。

3月11日の震災や原発問題によって、開催が困難と思われた支部もありましたが、19支部全ての会場で開催できました。これも、支部長をはじめとする支部役員の皆様のご尽力の賜物です。心より感謝と御礼を申し上げます。さらに、被災地域の参加率も例年並かそれ以上という結果になりました。

今震災で地域住民との交流・絆の重要性が見直されるようになりました。是非とも後援会の支部組



茨城県支部会場全体会



蔵王支部会場全体会



近畿支部会場全体会

織をご活用いただければ幸いです。本学の教育懇談会は、他大学にはないアットホームな雰囲気の皆様をお迎えいたします。今年参加できなかった会員の皆様も、是非来年は会場へ足を運びください。心よりお待ちしております。

この印刷物は古紙の配合100%の再生紙を使用しています

平成23年度地域別教育懇談会実施結果一覧

(M=機械工学科 P=ものづくり環境学科 S=創造システム工学科 E=電気電子工学科 C=情報工学科 A=建築学科 L=生活環境デザイン学科)

主催支部名	月日(曜)	開催市町村	開催会場名	対象地域	会員数(人)	出席者数(人)	出席率(%)	大学教員出席者
蔵王支部	9月 3日(土)	山形市	ホテルキャッスル	山形県・宮城県	98	35	35.7%	長坂教授(M) 佐藤教授(P) 櫛橋准教授(S) 當山講師(E) 大木教授(C) 松田助教(C) 上田助教(A)
北陸支部	9月 3日(土)	富山市	富山電気ビルディング	富山県・石川県 福井県	21	8	38.1%	成田教育研究推進室長 吉澤教授(S) 片山教授(C) 田中准教授(A)
群馬県支部	9月 4日(日)	高崎市	高崎ビューホテル	群馬県	298	54	18.1%	柳澤学長 梅崎教授(M) ニノ宮准教授(M) 小野教授(P) 渡部教授(S) 青柳教授(E) 吉田准教授(E) 北久保准教授(C) 白石教授(A) 武田教授(A) 小竿講師(L)
茨城県支部	9月 4日(日)	つくばみらい市	スターツ総合研究センター	茨城県	446	75	16.8%	村田教授(M) 張准教授(M) 貫井講師(P) 鈴木教授(S) 田村講師(S) 谷澤教授(E) 日下部准教授(E) 石川教授(C) 丹羽准教授(C) 小川教授(A) 吉村助教(A) 足立准教授(L)
千葉県支部	9月 4日(日)	千葉市	京葉銀行文化プラザ	千葉県	174	30	17.2%	野口准教授(M) 丹澤准教授(P) 中里教授(S) 中村教授(E) 飯倉准教授(C) 桑原教授(A)
近畿支部	9月 4日(日)	尼崎市	尼崎市立小田公民館	大阪府・京都府 奈良県・滋賀県 兵庫県・和歌山県	23	4	17.4%	渡辺副学長 神野准教授(E) 佐々木准教授(A)
岩手県支部	9月10日(土)	花巻市	湯の杜ホテル志戸平	岩手県	32	17	53.1%	田辺講師(M) 佐野准教授(S) 高橋教授(E) 小川教授(A)
静岡県支部	9月10日(土)	静岡市	男女共同参画センターあざれあ	静岡県	54	12	22.2%	増本講師(M) 石川教授(E) 成田剛准教授(A)
沖縄県支部	9月10日(土)	那覇市	琉球サンロイヤルホテル	沖縄県	9	6	66.7%	渡辺副学長
本部(九州)	9月10日(土)	福岡市	リファレンス駅東ビル	九州	6	1	16.7%	藤田総務部長
本部(四国)	9月11日(日)	松山市	愛媛県武道館	四国	11	10	90.9%	藤田総務部長
本部(北海道)	9月11日(日)	札幌市	K K R ホテル札幌	北海道	9	3	33.3%	磯用度管財課長
秋田県支部	9月17日(土)	秋田市	第一会館本館	秋田県	32	19	59.4%	細田准教授(M) 星野教授(S) 西村教授(E) 丹羽准教授(C) 成田健一教授(A) 吉村助教(A)
栃木県支部	9月17日(土)	宇都宮市	ホテル丸治	栃木県	361	61	16.9%	古閑教授(M) 高木准教授(M) 鈴木清教授(P) 吉澤教授(S) 瀧田准教授(S) 谷本教授(E) 森准教授(E) 辻村准教授(C) 山地准教授(C) 那須准教授(A) 西山講師(A) 瀬戸教授(L)
長野県支部	9月17日(土)	長野市	ホテル信濃路	長野県	77	15	19.5%	丹治講師(M) 三宅教授(S) 小林教授(C) 徐准教授(A)
西中国支部	9月17日(土)	松江市	サンラボーむらくも	広島県・山口県 島根県	8	3	37.5%	藤田総務部長 岡崎助教(M) 平栗准教授(E) 桑原教授(A) 石原助教(C)
東中国支部				岡山県・鳥取県	3	3	100.0%	
福島県支部	9月18日(土)	郡山市	清稜山倶楽部	福島県	98	40	40.8%	大島教授(M) 八木田教授(P) 伴准教授(S) 神野准教授(E) 日下部准教授(E) 棕田教授(C) 田中准教授(A) 川村教授(L)
新潟県支部	9月18日(日)	長岡市	長岡グランドホテル	新潟県	63	20	31.7%	竹内教授(M) 飯塚准教授(S) 高橋教授(E) 正道寺教授(C) 上田助教(A)
山梨県支部	9月18日(日)	笛吹市	ホテル春日居	山梨県	22	8	36.4%	柳澤学長 中野准教授(M) 森田教授(E) 白石教授(A)
青森県支部	9月24日(土)	青森市	青森国際ホテル	青森県	83	26	31.3%	波多野教務部長 神教授(M) 樋口准教授(S) 森田教授(E) 江藤助教(C) 徐准教授(A) 西山講師(A)
本部(近県)	10月 2日(日)	宮代町	大学	東京都・埼玉県 神奈川県	2,405	128	5.3%	柳澤学長 波多野教務部長 梅崎学生支援部長 共通教育系主任 藤田総務部長 酒井財務部長 吉見学生支援課長 栗本教務課長 初見就職支援課長 各学科主任7名他 M7名,P1名,S4名,E4名,C6名,A1名,L1名
東海支部	10月 9日(日)	名古屋市	東京第一ホテル錦	愛知県・三重県 岐阜県	9	4	44.4%	梅崎学生支援部長 高瀬准教授(C) 成田剛准教授(A)
合 計			22会場		4,342	582	13.4%	延べ148名

※職名は開催日現在

平成23年度 後援会特別事業

第2食堂

「ピザリア・トレビ」の改修

ウッドデッキにテント屋根を設置し
雨天時も利用可能になりました



耐久性・デザイン性を兼ね備えたテント屋根



内装もリニューアルしモダンな雰囲気

「第2食堂（ピザリア・トレビ）」は、第1食堂の昼食時の混雑緩和を図るため、平成6年度の後援会特別事業として建設されました。パスタやピザを中心としたイタリアンを主に提供する食堂として、学生や教職員に大いに利用されて

いますが、建設から16年が経過し老朽化が進んでおり、改修が必要な状態にありました。そこで平成23年度の後援会特別事業として、厨房を含めた室内の改修、及び南側に続くデッキにテント状の屋根を設置して、雨天時



セミナーハウス「下田寮」にて

理事会を開催しました

10月23日（土）、静岡県の伊豆下田にある「セミナーハウス下田寮」にて理事会が開催されました。高台に建つ下田寮は、大変眺めが良く、海や島も見渡せます。

議題は①地域別教育懇談会・支部総会実施報告②予算執行状況について③環境分野研究奨励助成金について④新聞広告についての4件でした。活発な質疑応答があり、討議の結果、全ての議案について承認されました。

にも使用できる実用的なデッキテラスへの改装を実施しました。本事業は5月の総会においてご提案し承認をいただいているものです。

このたびの工事が完工し、10月22日よりリニューアルオープンとなりました。壁や床が張り替えられ、テーブル、椅子も新しくなった店内は、間接照明の効果もあって、モダンでおしゃれな雰囲気に生まれ変わりました。

テラスにはテント屋根が設置され、雨天でも利用できるようになり、隣接していた旧図書館の解体に伴い、より開放的なオープンテラスとなりました。また、約50のテラス席が設置されたため、混雑緩和にも繋がり、学生諸君にも好評を得ています。

第2回北東北支部役員合同OB会を開催



ねぶたの雰囲気が存分に味わえる賑やかな店内

第2回目となった「北東北支部合同OB会」が7月23日（土）、青森県青森市の「たか久」にて開催され、青森、岩手、秋田から9名のOB及び現役役員、大学から藤田総務部長、飯島総務課員らが集い旧交を温めました。



全国から53名の理事が集まりました

支部総会を開催

地域別教育懇談会と同日に12の支部で総会が開催されました。この内11支部で支部長が交代し、1支部で再任となりました。前支部長には会長より感謝状が送られました。

新支部長に就任されたのは次の方々です。一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

蔵王支部長 齋藤 智 (M3)	北陸支部長 杉山清久 (A2)	群馬県支部長 中村 隆 (S3)	茨城県支部長 三浦英俊 (S4)	近畿支部長 吉田秀明 (L2)	岩手県支部長 平野秀明 (A3)	静岡県支部長 田代公男 (A3)	沖縄県支部長 川満秀吉 (E1)	長野県支部長 小平敬治 (A3)	東中国支部長 岸 安江 (A2)	山梨県支部長 北原一彦 (M3)	東海支部長 大畑真治 (A2)
-----------------	-----------------	------------------	------------------	-----------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------

～以上開催順、敬称略～

この会の特徴は、会長を立てないこと、幹事は各県が持ち回りで行うこと、OB会という名称でありながら現役の後援会支部長が幹事を行うこと、会費は当日の実費のみということ等々です。なるほどこれであれば、会の継続が期待できそうです。

来年は岩手で開催の予定ということです。たくさんの方が参加されると思います。



テーマ

Smile

(金)～11月6日(日)



童心にかえてミニSLに乗っちゃいました



学長賞・秀麗賞に選ばれたのは
小平佑也君（A3・長野）の作品「晴好雨奇」



LCセンターのギャラリーに展示された入賞作品。高校生とは思えないほどレベルが高いです。



11月6日(日)に開催された
「第25回日本工業大学建築設計競技表彰式」
テーマ：五感に響く「いえ」

若杉祭に合わせて支部合同視察研修を実施

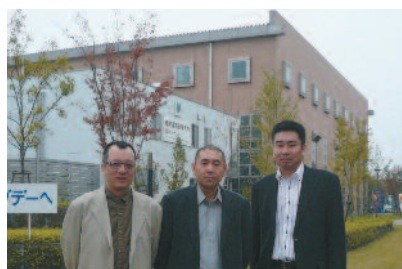
11月5日(土)に来学した支部



栃木県支部の皆様



蔵王支部の皆様



秋田県支部の皆様



福島県支部の皆様



千葉県支部の皆様



青森県支部の皆様



波多野教務部長の講話



英語教育センターを見学

11月6日(日)には群馬県支部より30名の会員と御家族の皆様が来学し、大学施設と若杉祭を見学しました。

トピックス

工友会群馬県支部が誕生

去る10月8日(土)に高崎ビューホテルにて「工友会群馬県支部設立総会」が開催されました。当日は出井後援会長も臨席し、支部の設立を盛大に祝しました。初代支部長には日工大OBで後援会理事でもある桑原金一氏が就任いたしました。同支部の発展をお祈り申し上げます。





ようこそ若杉祭へ！！



少年よ、大志を抱け！！

学生環境推進委員会



自転車こぎで発電中



ペットボトルのキャップ
で作りました



将来の日工大生！？



11月5日（土）に開催された「ホームカミングデー」も大盛況



開催：11月4日（



秀麗展にて審査中の柳澤学長
とってもおちゃめな表情ですね！
右は中央執行委員長の風間裕輔君（E4・新潟）



学友会館にて若杉中期のみ営業した
「喫茶後友会」も大好評



狙いをさだめて…



観衆を魅きつける



名パフォーマンス

芸術は…



バクハツだ！！

就職支援課より ご父母の皆様へ

就職支援課長 初見 範子

平成23年度は、「就職氷河期」の再来とも言われるほど就職環境は厳しい状況にあります。東日本大震災に始まり、歴史的な円高、欧州経済の減速、タイの洪水などの逆風が重なり厳しさは増す一方です。

例年なら就職活動が本格化する時期に、採用延期や採用中止をする企業が相次いだことから、大学の学生の多くは先行き不安となり、どのように動いたら良いものか戸惑いを隠せなかったように思います。このような状況の中でも積極的に活動をして内定を得、早々に活動を終了させた学生がいる一方で、半ば諦めモードとなり活動事態を中断してしまった学生



学内合同企業説明会の様子（学生会館にて）

もおりました。秋学期開始と同時に、漸く本格的な活動を行いはじめ、11月中旬で約5割、前年同時期より約1割低い内定率です。他大学でも同様の厳しい内定状況となっています。

本学では、内定を得ていない学生に對して、一人ひとりへ電話連絡をして就職活動状況の把握をするとともに、就職支援課へ相談に来るようにと呼びかけをしています。その他にも左記のように、ありとあらゆる対応をしています。

- ①学内合同企業説明会(学説)の開催時期と日程を増やして実施
- ②未内定者へのフォローアップガイダンスの実施
- ③研究室への出張ガイダンスの実施
- ④来学企業の求人票を研究室へ回覧すると同時に申込み受付
- ⑤本学学内での説明会と一次選考の実施
- ⑥未内定者との個別面談と就職希望者への求人企業の斡旋
- ⑦情報媒体協賛の学説実施
- ⑧埼玉県協賛の学説実施
- ⑨ハローワーク相談会
- ⑩埼玉労働局への学生情報の提供

まだ、内定を得ていない4年生・大学院2年生の御父母の皆様方につきましては、ご心配のこととお察しいたしますが、ご子息・ご息女に對し「最後まで諦めるこ

となく、活動すること」、そのために「就職支援課へ足を運び相談すること」をお伝えいただき、また、温かく励まし応援してください。さるようお願いいたします。就職支援課は最後までご支援いたします。

現在3年生・大学院1年生の就職活動は、これまで10月から開始された会社説明会等の採用活動に関する広報の開始が、経団連の「学業の妨げにならないように」との倫理憲章の見直しにより、2ヶ月後ろ倒しになりました。よって「超短期決戦」となることは間違いないと思います。経済状況も回復の兆しは望めず厳しい就職環境が待ち受けているだけに、左記の事項についてご子息・ご息女にお話しただければ幸いです。

- ①実践就職対策講座は授業と重ならない限り出席をする。
- ②12月11日(日)・12月18日(日)、また、2月22日(水)から3月1日(木)まで実施する「学内合同企業説明会」には必ず参加する。
- ③本学の求人情報を利用する。
- ④大手企業だけでなく、中堅・中小企業にも目を向ける。

⑤就職支援課へ足を運び、職員を大いに利用する。

就職に関するご相談は、就職支援課までお気軽にご連絡ください。
☎0480-32-7510(直通)

4年生のご父母の皆様へ

日本工業大学卒業アルバム委員会では毎年「卒業アルバム」を製作しています。各学科、各研究室のページや一年次からの学内風景、学生行事のページがあり、非常に見ごたえのある内容となっております。一生涯の思い出に残る大学生活の記念としてご購入いただけますようお願い申し上げます。全頁フルカラーで価格は送料込みで八千円です。

【お申し込み方法】

お申し込み方法は、次の二通りがございます。

●既に当委員会からご子息・ご息女様に配布している振込用紙にて申し込み。

●直接下記連絡先に問い合わせをしていただき、振込用紙を取寄せてご両親様が申し込む。

※いずれの場合も「ご子息・ご息女様とご相談頂き、「同時申し込み」にならないようお願いをつけ下さい。

※郵便局窓口にてお申し込み下さい。

【お申し込み締め切り日】

平成24年3月30日(金)

【お渡し方法】

卒業アルバムは、お申し込みの際、振込用紙にご記入していただいた住所に郵送いたします。

【お届け日】

平成24年7月

【活動時間】

平日

12時40分～13時10分

18時20分～19時20分

【連絡先】

ご不明な点などありましたら、当委員会までお問い合わせください。

電話番号

0480-32-2158

E-mail: nit_album@hotmail.co.jp

※土・日祝日・長期休暇中は、対応することが出来ませんのでご了承下さい。

※いただいた個人情報卒業アルバムの発送以外では使用いたしません。



平成23年度 環境分野研究奨励助成金採択研究テーマ

本年度は以下の5件が採択されました。

	研究テーマ及びチームの構成		研究期間	研究の概要	助成額（円）
1	研究テーマ	生物学的プロセスによる色素増感太陽電池の作製法の開発	平成23年 9月1日 ～ 平成24年 6月30日	本研究は、生物が持つ鉱物化能力、いわゆるバイオミネ랄イゼーション反応を利用して、湿式太陽電池であるチタニア色素増感太陽電池の電極を“生物的”プロセスにより常温・常圧・中性水溶液中で作製し、電極製造における環境負荷の低減を目指すものである。学生には、色素増感太陽電池の開発・製造および評価を通して、太陽電池が共通に抱える環境負荷の高い資源利用といった諸問題に対し、工学的な解決法の提案・探索といった「環境ゼミ」的教育を併せて実施する。	240,000
	研究代表者	佐野 健一			
2	教職員	：創造システム工学科准教授 佐野健一	平成23年 8月1日 ～ 平成24年 9月30日	輪番空調停止など日本工業大学における省エネ（節電）対策について、教室、研究室、実験室などの消費電力、温度、湿度を測定することにより、その効果を検証する。研究チーム参画学生の提案に基づく省エネ（節電）対策も検討する。学生を対象として、質問紙調査法を用いてエネルギー利用（節約）に対する認識を抽出する。年ごとの気象条件差、意識変化を考慮するため研究期間は来夏までとする。	120,000
	学生	：＜創造システム工学科＞ 千葉直軌、小野寺龍、新井裕太 金田脩平、菅原章、高橋誠 中山典久、橋本祥一			
3	研究テーマ	学内の省エネ（節電）の対策とその効果の見える化（定量化）	平成23年 8月1日 ～ 平成24年 9月30日	東日本震災後において電力供給不足が懸念されている。今夏、冷房機器などの停止や温度調整により節電対策を行うことが予想されるが、広域で多くの建物がある大学キャンパスなどでの温度・湿度情報を収集し、管理を行うことは難しい、本研究では、学内の既存無線LANネットワークと温度・湿度センサを利用し、広域な学内キャンパスの温度・湿度情報をリアルタイムに簡易に収集でき、収集したデータを元に最適な温度設定の指標が導ける温度・湿度管理システム試作機を構築することを目的とする。	240,000
	研究代表者	八木田 浩史			
4	教職員	：ものづくり環境学科教授 八木田浩史 共通教育系准教授 佐藤杉弥	平成23年 8月1日 ～ 平成24年 7月31日	東日本震災後において電力供給不足が懸念されている。今夏、冷房機器などの停止や温度調整により節電対策を行うことが予想されるが、広域で多くの建物がある大学キャンパスなどでの温度・湿度情報を収集し、管理を行うことは難しい、本研究では、学内の既存無線LANネットワークと温度・湿度センサを利用し、広域な学内キャンパスの温度・湿度情報をリアルタイムに簡易に収集でき、収集したデータを元に最適な温度設定の指標が導ける温度・湿度管理システム試作機を構築することを目的とする。	240,000
	学生	：＜八木田研＞ 原田裕人、網野秀俊、大谷友則、 長妻大介、岡田龍幸、甲斐正也 ＜学生環境推進委員会＞ 岩船拓也、佐山広晃、木村大樹（八木田研）			
5	研究テーマ	無線LANネットワークおよびセンサ機器を用いた温度・湿度管理システムの研究開発	平成23年 8月1日 ～ 平成24年 7月31日	東日本震災後において電力供給不足が懸念されている。今夏、冷房機器などの停止や温度調整により節電対策を行うことが予想されるが、広域で多くの建物がある大学キャンパスなどでの温度・湿度情報を収集し、管理を行うことは難しい、本研究では、学内の既存無線LANネットワークと温度・湿度センサを利用し、広域な学内キャンパスの温度・湿度情報をリアルタイムに簡易に収集でき、収集したデータを元に最適な温度設定の指標が導ける温度・湿度管理システム試作機を構築することを目的とする。	240,000
	研究代表者	平栗 健史			
6	教職員	：電気電子工学科准教授 平栗健史	平成23年 7月1日 ～ 平成24年 3月31日	平成23年3月の福島原発事故により、東北・関東を中心に放射線量と放射線が環境に与える影響について関心が高まっています。そこで日本工業大学構内及び周辺地域の放射線量を測定し、数値化してマッピングすることにより、線量の高い地点（ホットスポット）の有無の確認とホットスポット対策の議論を行います。また放射線に関する正しい知識を学習するとともに周辺地域への情報発信を行います。	240,000
	学生	：＜電気電子工学科＞ 小川知将、大和田涼介 戸花洋貴（EEワークショップ）			
7	研究テーマ	大学構内及び周辺地域の放射線量マッピング	平成23年 7月1日 ～ 平成24年 3月31日	平成23年3月の福島原発事故により、東北・関東を中心に放射線量と放射線が環境に与える影響について関心が高まっています。そこで日本工業大学構内及び周辺地域の放射線量を測定し、数値化してマッピングすることにより、線量の高い地点（ホットスポット）の有無の確認とホットスポット対策の議論を行います。また放射線に関する正しい知識を学習するとともに周辺地域への情報発信を行います。	240,000
	研究代表者	梅谷 篤史			
8	教職員	：共通教育系講師 梅谷篤史 共通教育系准教授 佐藤杉弥	平成23年 4月1日 ～ 平成24年 3月31日	東日本大震災の影響から、原子力発電が危険視されているなか、安全で環境に優しいソーラー発電に注目した。本学のソーラー発電装置は独立型ではないために充電できず、停電時においては、その有り余る電力を利用することができない。本提案研究は、小規模ではあるが、元機械工学科酒井茂紀教授の遺産であるソーラーパネル（23年経過）10枚（5m）を野口が受け継いでおり、その有効活用として、バッテリーに発電した電気を充電し、インバーターにより交流100ボルトに変換し、家電製品を稼働させるものである。パフォーマンスとしては、1日充電した電力のみで、お米4合を炊飯器で炊き、参加したメンバー5人で食する。	160,000
	学生	：＜機械工学科＞ 菅原翼、西村鷹一 ＜建築学科＞ 松本紗苗 ＜電気電子工学科＞ 蛭田耕平			

助成総額：1,000,000円

